

FANCT vol. 137-Jul.



3年ぶりに開催された「第58回北海道地区国立工業高等専門学校体育大会」の熱戦（旭川高専は白ユニフォーム）

ポストコロナに向けて

校長 五十嵐 敏文



2022年4月に、北海道大学大学院工学研究院より旭川高専校長として赴任してきました五十嵐敏文です。北海道出身ですが、北海道大学の修士課程を修了した後に、千葉県にある民間の研究機関に勤務し、2001年に北大に出戻り、今年勤務地が旭川まで北上することになりました。慣れない業務、慣れない生活ですが、学生たちが伸び伸びと活躍できる環境づくりを進めたいと思います。ここ数年はコロナの影響で、オンライン授業、部活の自粛などで、成長期の学生たちの行動が制限されていましたが、今年になりコロナ前の状況によりやく戻りつつあります。入学式も無事対面で実施することができました。また、学内、寮などでもコロナ感染者は若干名いましたが、クラスターにはならず、平常の授業、部活ができています。学生たちも、久しぶりの集団生活を謳歌することになりましたが、それに馴染むまでには少し時間がかかりそうです。

旭川高専は、全国の高専の中でもAI（人工知能）、DS（データサイエンス）に関する教育の主幹校であり、積極的にそれらの教育に従事し、Society5.0の時代にふさわしい学生を育成しています。その教育を通じて、地域社会だけではなく、日本さらには世界における科学技術の発展に貢献できる人材を輩出したいと考えています。卒業時には、学生たちが旭川高専出身でよかったと思ってくれるように、教職員一同努力したいと思います。

令和4年度対面授業の継続 with コロナ

副校長・教務主事

篁 耕司

本年は本科，留学生，専攻科合わせて194名の新たな仲間を迎え，4月から行事予定通り対面授業がスタートしました。

学生たちは，日々新型コロナウイルス感染症対策を行いながら，日常としてコロナを受け入れ，授業や課外活動に取り組んでいる様子が見られています。お陰様でこれまで学内での感染拡大は見られておらず，これも学生および保護者の皆様の感染対策へのご協力の賜物と存じます。この場を借りて感謝申し上げます。

7月に入ってから第7波の到来もあり，コロナ禍がまだまだ続く気配です。学校は夏季休業期間に入りましたが，インターンシップや課外活動等においても関係者の感染拡大を防ぐために自宅待機等をお願いすることもあります。引き続き感染対策にご協力頂くとともに、積極的なワクチンの接種をお願い致します。

引き続き本校の教育活動にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



新入生研修 (2022年4月21日(木))

学生主事補 倉持しのぶ

今年度の新入生研修は、新型コロナウイルスの影響で3年連続での学内実施となりました。

新入生研修は、「新入生が今後の高専生活を具体的にイメージできるようにするとともに、クラス内の親睦を図る」ことを目的としており、内容は例年通り「上級生による学校紹介・学科紹介」, 「卒業生講話 (2007年に本校制御情報工学科を卒業した森田拓愛氏によるオンラインでの講話)」の他、今年度は各クラス (学科) で「グループエンカウンター」にも取り組みました。

午後のスポーツ活動ではミニバレーを行い、学科内のリーグ戦、学科代表によるトーナメント戦を通して、学科を超えて交流することもできたかと思えます。たった一日の活動ではありませんが、この研修が新入生の今後の高専生活に役立つものであってほしいと願っています。





新入生研修を終えて (1年 機械システム工学科)

代表 門田 丈さん

①クラスの紹介

1Mは各々の個性は強いけれども、喧嘩することなく、むしろ調和していてとても面白いクラスです。

②研修を終えて、クラスで変わったこと

1番はクラスの雰囲気だと思います。勿論、高専には各地域から、そして道外からもたくさんの方が来ています。なので最初は、当然

の如くみんな内気で、これからは不安でしたが、この研修のおかげでとてもクラス全体の雰囲気は良くなりました。

③印象に残ったこと

ミニバレーです。スポーツの力はとても偉大で、すぐに仲良くなることができます。

チームの人がミスをしてみんなを励まし合い、ゲームを重ねていく様子はとても印象的でした。

④今後の学校生活に対する抱負

1Mの強みである「団結力」で全員進級を目指したい!!

新入生研修を終えて (1年 電気情報工学科)

代表 齋藤 遥翔 さん

①クラスの紹介

担任の吉田雅紀先生，副担任の冨永徳雄先生の下，総勢48人で勉強しています。級長は濱坂流衣さん，副級長は齋藤遥翔，書記は大内優弥さん，会計が樋口涼さんです。

②先輩の学校紹介を聴いて感じたこと

学科の特徴，高専の過ごし方などを教えてもらいました。GW中にどのような宿題が出るのか聞けば良かったなと思いました。

③研修を終えて，クラスで変わったこと

交流をしていく中で，趣味が同じだったり，嬉しさを共有などして，意気投合することができました。その結果，クラス全体で纏まるまでは行かなくとも，仲良くなれた人がそれぞれにできたことと思います。

④今後の学校生活に対する抱負

マナーをしっかりと守る，満足のゆく勉強をする，同じ趣味を持つ友人を見つけたり，スマホ，ゲームを見る時間を抑えるようにもしたり，部活動にも積極的に取り組めれば良いなと思います。



新入生研修を終えて (1年 システム制御情報工学科)

代表 立石 一葉 さん・千葉 健太郎 さん

・印象に残ったこと

今回の新入生研修で特に印象に残っているのは、先輩方の各学科の紹介です。先輩方がいろいろなことを事細かに教えてくれたので、スムーズに高専の雰囲気になじむことができましたと思います。他にも、「高専病」の恐ろしさについても教えて頂きました。一年生から高専病になりたくはないので、予防に努めたいと思います。

・クラス紹介

このクラスは、普段とても落ち着いているクラスだと思います。休み時間にもかなり静かなので、先生方に「すごく静かだったけど、ちゃんと休めましたか？」と聞かれることが稀にあります。静かなのはいいことなのですが、もっとクラスメイト同士でコミュニケーションが取れば、さらに互いを高め合うことができると思います。





新入生研修を終えて（1年 物質化学工学科）

代表 橋達 大和さん・畠山 乃愛さん

- ①クラスの紹介** 朝；1-Cの朝は賑やかです。朝でも元気一杯です。昼休み；寮生が多いので、12:40までは人が少ないです。それ以降は朝と同様に賑やかになります。お腹が満たされたお陰か、心なしか朝よりも賑やかです。放課後；遊び・勉強・部活動にそれぞれが精一杯頑張ります。
- ②今後の学校生活に対する抱負** 高専では普通の高校と違いクラス替えがなく、5年間という長い間同じ教室で共に学ぶこととなります。ですので、今よりもさらに「絆」を強く意識してこれからの学校生活を送りたいと思います。
- ③印象に残ったこと** 新入生研修ではミニバレーやグループエンカウンターを通してクラスの仲をより深めることができました。先輩や卒業生からの講話もとても勉強になり、これからの高専生活が楽しみになりました。
- ④先輩の学校紹介を聴いて感じたこと** 先輩の学校紹介では、1年生のうちはまだ余裕があるので興味のあることには積極的にチャレンジしたほうが良いとアドバイスを頂いたので、取りたいと思っている資格や新しいことに挑戦してみようと思います。

校内体育大会

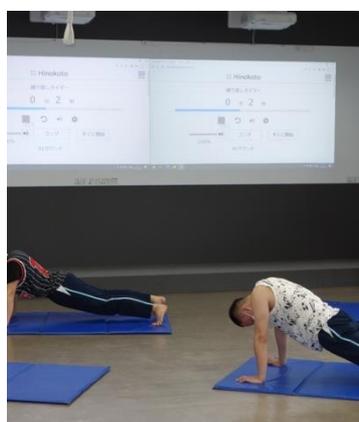
(2022年5月19日(木), 20日(金))

体育大会実行委員長 猪野 武さん

5月19日(木)・20日(金)の2日間にわたり、校内体育大会が開催されました。

今年度は、バレーボール、ソフトボール、ウォークラリー、バドミントン、卓球、筋肉番付、駅伝の7競技が行われました。

特に駅伝は3年ぶりの実施となり、非常に大きな盛り上がりを見せました。



新任教員より（4月採用）

機械システム工学科 福澤 修一郎

今年4月に、旭川高専機械システム工学科に採用になりました福澤と申します。昨年度までの28年間は、民間企業で自社設備の点検装置（メカトロ機器）の開発に従事していました。旭川高専では、その経験を活かすとともに、エンジニアを目指す若者へ私が培ったノウハウを伝授したく、学生達と一緒に小型無人航空機（UAV）の研究に取り組んでいます。

授業や卒論指導、学生会活動のサポート等で戸惑う場面も多々ありますが、一日でも早く旭川高専の皆様のお役に立てるよう日々精進してまいりますので、どうかよろしくお願いいたします。



機械システム工学科 安田 洋平

4月より本校に採用された安田と申します。これまでは、大学教員や研究員、設計者をしておりました。専門は「材料力学」です。強くて壊れにくい材料や機械構造物の力学的メカニズムの解明に、シミュレーションや数理モデルを用いて取り組んでいます。

これから皆さんと一緒に授業や研究に取り組めることを楽しみにしております。どうぞよろしくお願いいたします。



新任教員より（4月採用）

システム制御情報工学科 中川 佑貴

10年ぶりに故郷である北海道，そして高専に戻ることができ嬉しく思います。学生には高専に来て良かった，地域の方には高専が旭川にあって良かった，とと思って頂けるように精一杯努力いたします。そうして高専のファンを増やすことが，私ができる高専への恩返しだと考えています。

研究も北海道に根付いたウマの生産について機械工学の観点からアプローチしています。分野も関係なく皆様のお役に立てるように頑張ります。



人文理数総合科 安藤 陽平

4月に着任した安藤です。私は高校まで野球一筋でしたが，大学で突如として文学に興味を持ち，研究の道に進みました。人生において，いつ何がしたくなるかはまったく予想できません。今は技術者になりたいと思っても，数年後には作家を目指しているかもしれない。その路線変更を可能にするものこそ学生時代の学び・経験に他なりません。皆さんが勉強，そして遊びに全力で打ち込めるよう精一杯サポートしていきます。



新任職員より（4月採用）

技術創造部 第一技術グループ 山田 千波

この4月に採用されました山田です。本校の物質化学工学科ならびに応用化学専攻科を卒業・修了し、昨年度まで原子力関係の研究機関で放射性廃棄物にかかわる技術開発業務を行っておりました。

主に物質化学工学科の実験のサポートをさせていただきます。至らぬ点が多々あると思いますが精一杯努力し、皆様のお力になりたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いたします。



教員の配置換および職員の採用・復帰

発令日	異動内容	所属 / 職名	氏名
4月1日	配置換	機械システム工学科	阿部 敬一郎
		電気情報工学科	佐藤 直飛
	採用	総務課長	遠藤 克紀
		総務課課長補佐（総務担当）	志村 隆行
		学生課教務係	山崎 森平
7月1日	出向からの復帰	学生課教務係	小森 聖華

旭川高専産業技術振興会の企業紹介

No.23 株式会社 総北海

会社概要

当社は昭和23年創業の印刷会社で、旭川本社の他に営業拠点として札幌支社と東京支店があります。印刷物の製造は旭川本社にある工場で、印刷物のデザインから印刷製本まで一貫して行っています。主力製品はパンフレットやポスター、写真集などカラーの技術を生かした印刷物ですが、近年では印刷データ作成の技術を生かしてWebや動画の作成からモバイルコンテンツと連携したイベントの企画立案なども手掛けて、幅広い営業活動をしています。



代表取締役社長
田村 総司郎

アピールポイント

総北海では「お客様の繁栄は我社の喜び」という企業理念に基づき事業を行っています。会社は当社の従業員のためだけに営利活動をするのではなく、お客さまや社会全体に良い製品を作り貢献していくという考えが根底にあります。つまり社会から存続を望まれる会社にならないければ存続し続けることはできません。

そのためには社員の人材教育が不可欠であると考え、社内外での教育研修に力を入れています。従業員のスキルアップにつながる研修等の費用は会社で100%負担しています。また働きやすい職場、長く働ける職場づくりを目指し有給消化率の向上や、個人の事情に応じて勤務形態を変えたりもしています。そのためにも就業規則は毎年見直されて、時流に沿った変更がされています。近年ではジョブリターンやテレワークの制度なども制定されています。また社内独自のマイレージシステムを導入して、業務改善の提案や研修等をポイントにして社員に還元するなど、常に新しい取り組みを続けています。

連絡先

住所：北海道旭川市工業団地2条1丁目1-23

TEL：0166-36-5556

HP：<https://www.sohokkai.co.jp/>



作業風景



社屋

旭川高専産業技術振興会の企業紹介

No.24 第一包装資材株式会社

会社概要

- ・ 設立：1977年1月
- ・ 従業員数：45名（男性26名，女性19名）
- ・ 事業内容：ポリ袋の印刷，プラスチックフィルム印刷，プラスチック成型品，弁当容器・トレー，ダンボール，紙製品，梱包資材，包装用器機，食器，包装資材全般



カラー調整

アピールポイント

私たちは、企画・デザイン・製造販売までの一貫した生産・供給体制で、良い製品をより安く，そしてより速くをモットーにしております。弊社の特色を発揮した製品をお届けし，自社製品のみならず軽包装を含めた総合包装資材メーカー・販売会社として，あらゆるニーズに答えられるよう体勢を整え，地域密着型の営業を展開しております。

お客様との窓口となる事務部，お客様の要望を汲み取り提案する営業部，お客様のイメージを視える化するデザイン部，職人として正しいものをお届けできるよう目を光らせる制作部，無事お手元にお届けできるようチェックと配送を行う配達部。作業を一括した直販だからこそできる強みが多く，「ものづくり」のエキスパートして自分に合った部署で力を発揮することができます。

連絡先

住所：北海道旭川市永山6条2丁目
1-2

TEL：0166-48-6767

HP：<http://www.no1pac.com/>



ラミネート機



ラミネート新工場

FANCT

vol. 137-Jul.



独立行政法人国立高等専門学校機構
旭川工業高等専門学校

〒071-8142 旭川市春光台2条2丁目1番6号

TEL 0166-55-8000 (代表)

FAX 0166-55-8082

URL <https://www.asahikawa-nct.ac.jp>

学校だよりに掲載されている記事・写真などは、学校だよりへの掲載目的以外の利用及び外部への提供は一切行いません。また、個人情報に関するお問い合わせは、上記担当までご連絡ください。掲載の記事・写真・イラストなどのコピー・転写等の二次利用は固くお断りいたします。